

朝の光に  
勇氣凜々

Kimassi

KANAZAWA

KANAZAWA TOIYA CENTER QUARTERLY NEWS  
URL <https://www.kimassi.or.jp/>

2025年11月

金沢問屋センターニュース

Vol.153  
November

## report 組合主催イベント

工芸体験工房&金沢美大見学ツアー  
ツエーゲン金沢 試合観戦

## バトンエッセー

## わが社をPR

## 青年部会活動報告

## うちのキラリンさん

## 令和7年度 卸売業組織力強化支援事業 事務局だより



## 事務局だより

# I N F O R M A T I O N

7月

●24日 新入社員フォローアップ研修 5社10名参加

●25日 理事会

1. 総務委員会より

(1) 備品購入について

(2) 景況調査について

2. 組合運営委員会より

(1) レストランスペース一部改修案について

(2) 大規模修繕補完工事について

(3) 庭園灯修繕工事について

3. 厚生委員会より

(1) サッカー観戦について

(2) 新入社員フォローアップ研修について

4. 街力委員会より

(1) 金沢市卸売業組織力強化支援事業について

(2) イベント事業について

(3) 広報誌第152号について

(4) 防犯カメラ・防犯灯設置補助制度について

5. 青年部会より

(1) 6月定例会について

(2) 7月定例会について

(3) 9月定例会について

6. 事務局より

(1) 組合脱退による持分払戻し請求について

(2) 事務局の夏期休暇について

●30日～8月1日 一般健康診断 200名受診

8月

●4日～6日 付加健診・簡易ドック・

日帰り人間ドック 83名受診

●18日～20日 健康診断 356名受診

9月

●3日 理事会

1. 総務委員会より

(1) 土地の移動について

(2) 景況調査の集計結果について

2. 組合運営委員会より

(1) 町内一斉清掃について

(2) 不燃物有料回収について

(3) 防水補完工事について

(4) 共同駐車場及び会館水防対策について

3. 厚生委員会より

(1) サッカー観戦について

4. 街力委員会より

(1) 金沢市卸売業組織力強化支援事業について

(2) イベント事業について

(3) 働き方改革推進支援助成金(団体推進コース)について

5. 青年部会より

(1) 7月定例会について

(2) 9月定例会について

10月

●6日 理事会

1. 総務委員会より

(1) 管理人契約の更新と職員の採用について

2. 組合運営委員会より

(1) 町内一斉清掃について

(2) 不燃物有料回収について

(3) ホワイエ漏水について

(4) 駐車場利用料金について

(5) レストランスペースの活用案について

3. 厚生委員会より

(1) インフルエンザ予防接種について

(2) サッカー観戦について

(3) ボウリング大会について

4. 街力委員会より

(1) 金沢市卸売業組織力強化支援事業について

(2) 青年部会10月定例会の共催について

5. 問屋町交通安全対策協議会より

(1) 違法駐車を取り締まりについて

6. 青年部会より

(1) 9月定例会について

(2) 10月定例会について

7. 事務局より

(1) 改修及び修繕について

●8日 不燃物有料回収 19社参加

●15日 一斉清掃 111社134名参加

●24日 (協)山梨県流通センター様 来訪



11名の皆様が当組合へ視察に来られた。

## 会館休館のお知らせ

たびたびお知らせしてまいりましたが、修繕工事のため令和8年4月から9月にかけて金沢流通会館を休館させていただきます(一部事業では、工事期間中も使用の予定)。利用者様や来場者様に使いやすく、災害に強い会館を目指して修繕を行いますので、ご協力・ご理解のほどよろしくお願いいたします。

なお、令和8年9月中に内覧会を実施し、10月からの通常営業を予定しています。皆様の積極的な会館利用をお願いいたします。

## 編集後記

協同組合金沢問屋センターの広報誌が国会図書館に収蔵されていると、街力委員会で話題になりました。国会図書館では国内で発刊された出版物は原則全て納本の対象になっていて、企業や団体が発行する広報誌も含まれているとのこと。確か学生時代に国会図書館のことを知った私は、『全ての出版物』というところで、本当にそんなことができるのだろうかと思いがちでしたが、

した。しかしこの広報誌の収蔵を通じて、概ね全ての出版物が収められていることについて、現実味を持って再認識することができました。

「金沢問屋センターの活動の記録を伝える広報誌が、未来の見知らぬ人の目に触れて研究の対象になるかもしれない」なんて想像しながら、これからも街の力を発信してまいります。

(Y.O)



# 組合主催のイベントで 夏の思い出作りました！

## 1 工芸体験工房&金沢美大見学ツアー

8月10日(日)、工芸体験工房&金沢美大見学ツアーを開催しました。例年行っている美大生によるワークショップをさらに専門的かつ充実した内容でお届けするため、会場を金沢美術工芸大学の新キャンパスへ移しての実施となりました。これによって本格的な設備を使った多彩な工芸体験が可能となり、参加者にとって特別な学びの場となりました。

当日は、陶磁・彫金鍛金・鍍金・染織の4つの分野でワークショップを開催、それぞれに子ども部と大人の部を設けて合計8つのコースを用意しました。例えば、陶磁では絵付けを楽しみ、彫金鍛金では金属の食器制作など、高度な技術や道具を用いて創作の喜びを味わう時間となりました。年齢を問わず、各コースで熱心に創作に励む姿が見られ、作品づくりに没頭する表情や親子で協力して仕上げる様子が印象的でした。

また、新しい美大キャンパスの見学も行いました。普段は目にするのではない最新の設備や規模の大きな工作機器、専門の工房などをじっくりと見学でき、子どもも大人も新鮮な驚きと感動の声を上げていました。

参加者からは「また参加したい」「じっくり制作体験ができて楽しかった」といった感想が多数集まり、イベント終了後も交流が続くほどの盛り上がりとなりました。来年度も金沢美大キャンパスで、より魅力的なワークショップを実施したいと考えています。今後も多くの方々に楽しんで頂けるよう計画していきます。



子ども  
の部  
計18名

陶磁のお皿にどんな物語が描かれるのかな？

陶磁 7名  
お皿にストーリーを描こう！  
彫金鍛金 3名  
アルミのプレートに模様を描こう！  
鍍金 2名  
錫のチャームを作ろう！  
染織 6名  
Tシャツを染めよう！

大人  
の部  
計17名

陶磁 4名  
お皿にストーリーを描こう！  
彫金鍛金 6名  
アルミのプレートに模様を描こう！  
鍍金 3名  
錫のチャームを作ろう！  
染織 4名  
フェルトルームシューズをつくろう！

鍍金で錫のチャームを制作中。



最新鋭の設備を備えたアトリエを見学。



学内の説明をうける参加者たち。

## 2 ツエーゲン金沢の試合を観戦、勝利に酔う！

厚生委員会の企画として、昨年初めて実施した地元のサッカーチーム「ツエーゲン金沢」の試合観戦。昨年は惜しくも敗戦でしたが、多くの好評を頂いたので2年連続で実施することとなり、大人27名、小中高生6名が応援に駆けつけました。



©ZWEIGEN

観客も全員総立ち！熱い声援を送る。

観戦したのは金沢ゴージャス・カレッジスタジアムで行われた香川県「カマタマーレ讃岐」との試合で、9月27日(土)午後6時にキックオフ。前半はO・Oで折り返しましたが、後半に入るとツエーゲン金沢の選手たちが果敢に攻め上がり、得点を重ねました。ファンの温かい拍手と歓声がスタジアムを包み、1点先取されながらも追い付き、その後勝ち越し点を奪って見事勝利！その瞬間は観客全員が立ち上がって歓喜の声をあげるなど、試合の臨場感を存分に味わいました。まさにスポーツの醍醐味を感じたひとときで、今後もこのような機会を通じて地域に活気が生まれ、絆が深まることを願っています。

この原稿の執筆時点でチームは7位と昇格圏内に迫る好成績を維持しています。皆さまがこの記事を読まれる頃には、一丸となって勝ち上がっているツエーゲン金沢の姿を笑顔で語り合えることと確信しています。

## わが社をPR

### 川上産業株式会社 変化を受け入れながら成長

肥料の卸売りで創業し、今はセメントをメインに建設関係の材料を扱っています。耐震補強工事、橋やトンネルなどの補修工事も行っていますが、こういった特殊な工事には知識が必要です。お客様としても極力外注に出したいのが本音で、商談で「施工までしてくれるなら」という話を頂くことが多くなり、始めました。

インフラの老朽化などは社会的な課題であり、仕事の依頼は多いのですが、運送、建設業界全体の人手不足が不安材料です。うちの場合は物流のウエイトが大きいので、例えば能登に行く時は、羽咋、七尾と順に荷物を下ろして何かを積んで帰るなど、一回で効率的な配送を工夫しています。最近はお客様にも理解して頂けるようになり、社会全体の意識が変わってきたと感じています。

労務環境も変わってきました。ここ数年の夏は異常な暑さで、空調服の支給、大量の飲み物を冷やしておくなど熱中症対策には気を付けていますし、あまりに暑い時はコンクリートの打設作業を夜間にしてもらえるよう要望したりします。コンクリートの品質に響きますし、働く人の疲れ方も全然違うので。

代表取締役  
社長  
茨木 陽介

荒れた竹林の筍からメンマを作るワークショップに参加しています。いろいろな意見を持った人の集まりで面白いですし、勉強になりますよ。

### 能登の復興を 支えていきたい

社長に就任して3年目の昨年、能登半島地震、能登豪雨がありました。元日の地震発生直後から「道路が壊れて緊急車両も通れない！何とか材料を持ってきて」という電話がジャンジャン入り始めました。能登の地形では、道路が使えなければ資材も支援物資も運ぶことができません。電話をかけまくって、運送屋、メーカーの協力で3日から材料を入れ始めることができました。まずは七尾の ASF 工場まで運び、そこから道路を直しながら奥能登へと材料を持っていくようにしていったのですが、道だけでなく“あって当たり前”のモノがないといかに困るか、再認識しました。

能登地域は人口も減っていますが、それでもそこに人が暮らし、能登が好きと言う方がいらっしゃいます。元の暮らしに戻るように、当社も材料などの面で支えられたらと思っています。

世の中が変わっていく中で、当社も肥料の卸から始まり施工まで行うなど適応してきました。これからも、ますます激しくなるであろう変化を受け入れながら対応していきたい。今後の目標は、働いてくれている社員が退職する時に「ここで働いていてよかった」としてもらえる会社にあることです。



被災地に水を届けたりするなかで、防災用の電源の必要性を痛感。大容量で持ち運び可能な蓄電池を扱い始めた。

## ボタンエッセー

vol.38

### プログラミングで気づいた 地域の魅力と人とのつながり



富木医療器株式会社  
代表取締役社長

荒井 博史

「ナイス」という掛け声が耳に飛び込んできた。私も続けて「ナイス」と声を上げる。そこは、私が今通った道だった。そこに落ちていたゴミに気づけなかった自分に、ふと恥ずかしさを覚えた瞬間だった。

皆さんはプログラミングという活動をご存じだろうか。プログラミングとは、ジョギングをしながらゴミ拾いを行うスウェーデン発祥のフィットネスである。運動をしながら地域の美化にも貢献できるという一石二鳥のアクティビティとして注目を集めている。先ほどの「ナイス」という掛け声は、ゴミを拾った人に贈る感謝と称賛の言葉だ。

私は、弊社が野々市市とウェルビーイングな社会の実現に関する連携協定を結んだことをきっかけに、ののいちプログラミングに参加するようになった。7月のイベントでは運動不足解消も兼ねて3キロコースを選択。北國街道宿場町周辺を歩きながら猫面瓦を探するというユニークなミッションに挑みつつ、ゴミ拾いに励んだ。最初は屋根にある猫面瓦探しに夢中に

なり、道路に落ちていたゴミを拾うことをすっかり忘れていた。しかし途中からは、視線を上にも下にも忙しく移しながらゲーム感覚でゴミを拾い、猫面瓦を探し続けた。この「ナイス」の掛け声や猫面瓦探しというユニークなミッションが参加者の共通話題となり、初対面の人も自然に打ち解けるきっかけとなった。ちなみに猫面瓦とは、鬼瓦と同じく災厄から家を守るために設置されたものである。明治時代に養蚕が盛んだったこの地域では、蚕の天敵であるネズミを防ぐために猫の顔を模した瓦が用いられたという。猫面瓦にはさまざまなデザインがあり、見ていて飽きることがなかった。当時の人々が鬼ではなく猫を選んだ背景に、猫がネズミ退治に役立っていたという実用性があったのだろうと想像を巡らせた。

ゴール後、歩いた軌跡が椅子の形になったGPSアートを確認し思わず笑みがこぼれた。こうした多くの仕掛けがあることで、楽しみながら地域美化に取り組むことができたのは新鮮だった。さらに、拾ったゴミの量を目の当たりにして驚くと同時に、地域に貢献できたという達成感を味わうことができた。

「ジョギング」×「ゴミ拾い」×「地域魅力発見」という活動は、単なる運動や清掃活動にとどまらず、人と地域とのつながりを深める貴重な機会でもある。野々市市の新たな魅力を発見し、学びを得たこの1日は、私にとって忘れられない体験となった。



# 青年部会活動報告

9月  
定例会

## キマツシ秋祭り2025 焼きさんま1700尾を完売！



9月11日(木)、金沢流通会館第1駐車場にて、青年部会主催の親睦事業「キマツシ秋祭り2025」を開催しました。本イベントも毎年恒例となりつつあり、組合員の皆様からの「楽しみにしている」との声に、張り切ったの実施となりました。

当日は天候にも恵まれ、かき氷の無料配布やキッチンカーの出店など、賑やかな雰囲気の中で多くの方にご来場頂



さんまを焼く腕にも年々磨きがかかって。

きました。目玉のさんまは、なんと1700匹を用意！焼き作業は大変でしたが年々部会員の手際も良くなっており、全て無事に焼き切って完売できました。

今後も皆様に喜んで頂けるよう検証を重ね、さらに魅力的な事業へと進化させてまいります。

10月  
定例会

## 企業防災セミナー 企業に何ができるのか？考える機会に

10月29日(水)17時より金沢流通会館4階研修室にて、街力委員会との共催で開催。令和6年能登半島地震の復興支援にも尽力された防災専門家・(株)Mutubi代表取締役の加藤愛梨氏を講師に、企業における防災・減災の重要性やBCP(事業継続計画)の考え方についてお話し頂きました。

講演では「誰が命をつないだか？能登半島地震の事例から学ぶ共助の必要性、そして限界」というテーマのもと、被災地支援の現場から見た地域のつながりの重要性や



災害時の情報発信のあり方について語られました。災害リテラシー向上へのヒントが多く得られる内容であり、防災対策において企業に何ができるのかを考える貴重な機会となりました。

令和7年度

## 卸売業組織力強化支援事業 AI活用のための実践的セミナーを開催

金沢市では市内卸売業の「組織力強化」「人材育成」「デジタル化推進」を支援し、事業者の持続的成長および業務効率化を目的に卸売業組織力強化支援事業を実施しています。

当組合では今年度も金沢市の補助を得て取り組みを進めており、「AI活用実践セミナー＆ワークショップ」をテーマに掲げて最新の技術動向を現場に還元する事業を展開しています。

第1回セミナー

10月28日(火)

(株)スプラムの竹内幸次氏を講師に開催しました。AI活用の目的を業務効率化にとどめず、付加価値向上のための使い方が重要だと説明し、有償・無償を問わず様々なサービスを紹介されました。経営にも活用できるようなサービスもあり、多くの具体的な事例を交えながら「手段としてのAI活用」を分かりやすく紹介して頂き、大きな反響がありました。



第2回セミナー

11月6日(木)



(株)ドモドモコーポレーションの遠田幹夫氏にご登壇頂きました。AI導入による経営改善やDX(デジタルトランスフォーメーション)推進を中心に、ブログやスライド生成の実演などを行うといった具

体性を持ったセミナーとなりました。講師の遠田氏には、中小企業支援現場での豊富なAI導入事例をもとにIT活用・キャリア戦略・情報発信の再構築など多角的な視点でお話を頂きました。

ワークシヨップ及び個別相談会を随時開催し、現場の課題や導入プロセスについて具体的なサポートを提供しています。

ワークシヨップ

11月10日(月)より

AI関連サービスは日々進化を続けており、事業革新の大きな可能性が広がっています。本事業では、AIを「知る・使う・活かす」きっかけとなる場として、実務に直結する学びの機会を提供してまいります。今後も最新の技術を学び、皆様とともに成長できる事業運営を目指します。

## “聞く”に徹する営業スタイル

株式会社ヤギコーポレーション  
山下 ジョンさん

妻の里帰り出産を機に金沢に移住しました。ほんやりとですが、ガレージ付きの家を建てたいなあなんて考えています。



入社して半年ですが、それ以前は東京で10年以上、ユニフォーム業界にいました。営業をするうえで東京も金沢も違いはないのですが、こちらは人当たりの良さを感じます。また社内の風通しも良く困ったら製造やデザインに気軽に聞けますし、メーカーなので提案が早い、自由度が高いといった点もお客様に喜ばれます。

聞き手側にもわって、お客様の情報を引き出していくのが自分の営業やり方です。そもそも理由がなければユニフォームを変える必要はなく、ここ最近では、ユニフォームをカッコよくしないと採用に困るという会社が多い。儲かっている、儲かっていないとは別に、どんどん良くしていきたいという流れにあります。

今はまず、ヤギコーポレーション全体を把握できるようにになりたいですし、将来的には、業界の一番を目指したいという思いはあります。

うちの

キラリンさん

問屋町にお勤めの元気な社員の方をご紹介します

## 印象に残った三方良しの仕事

泰和ゴム興業株式会社  
横川 皓紀さん

今はまだ一番下の立場ですが、これから後輩が入ってきた時に引っ張っていけるようにならなければと思っています。



主に機械部品として、工業用ゴム製品の営業をしています。機械1台にパッキン1個などロットが細かく、発注は年に数回というお客様も。品番が多いうえゴムにも種類があるので、型式がわからない場合は現場で確認をするなど、入社して7年目の今でもスペック選定に迷うような製品もあります。

当社の主要な取り扱い商品に建設機械等で使われる油圧ホースがありますが、現場で稼働中に急な交換修理が必要になった場合、当社では緊急対応が難しい面もありました。そのような時に対応に協力して頂ける得意先を開拓して、当社からの部品供給と修理業者の現場作業をマッチングさせることで課題の解決につながりました。結果、三者にとってメリットのある“三方良し”の仕事になり、営業として良い経験と達成感を得ることができました。

安心・安全な問屋町をみんなでつくりましょう



防犯カメラ作動中

## 防犯カメラ・防犯灯の設置を応援します！

最近では働き方改革の影響などで夜間に照明をつけている会社が減り、街が少し暗く感じられることもありますよね。組合では「安全・安心な街づくり」を進めるため、今年度も防犯カメラと防犯灯の設置をサポートします。街が明るくなることは、犯罪や迷惑行為の防止にもつながりますので、まだ利用されていない方は、ぜひこの機会にお役立てください。

防犯カメラ設置補助金

●設置費用の50%を補助(上限10万円／1社)

●対象は問屋町内の建物や駐車場など  
●出入口など、公道を含む範囲を撮影できる場所への設置がおすすめです

防犯灯設置補助金

●設置費用の50%を補助(上限10万円／1社)

●問屋町内の建物や駐車場への常夜灯が対象(人感センサー付きもOK)  
●設置後の電気代や維持費は各社ご負担となります

●設置業者や機種の指定はありません  
●夜間でも安心して過ごせる環境を組合員の皆さんと一緒に整えていきたいと考えています。ご不明な点やご相談などありましたら、お気軽に事務局までお問い合わせください。

安くて便利！

## カーリースのご案内



当組合では、商団連の事業として(株)日産フィナンシャルサービス様を通じて、カーリース事業をご案内しています。  
社有車にかかる税金や車検などの維持コストを考えると、カーリースの活用も選択肢の一つとして有効ではないでしょうか。もちろん、日産車以外でもリースを組むことは可能です。商団連を通して集団化を図っておりますので、お安く提供できると考えています。ぜひ一度お声かけください。  
※特装車やフォークリフトなども対応できます。何でもご相談ください。  
※詳細は事務局まで、お気軽にお問い合わせください。